

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

平成 19 年 11 月 13 日 (火) 第 2386 回 (本年度第 18 回) 例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (11/13)

新そば打ち例会 甚内旅館

11月6日(第2385回) 例会報告

点鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓話: 鶴岡市立荘内病院副院長(兼) 地域医療連携室長
(兼) 小児科医長 伊藤末志氏**会長報告****先週の行事**

○ 10/27 鶴岡東 RC の創立 20 周年記念式典と祝賀会に参加して参りました。当クラブの 50 周年記念に関しては加藤年度に 5 人の実行委員会でスタートしましたが皆さんのご意見などを参考にパスト会長さん全員のご参加をいただき、10/23 に会議を開きました。役割分担については現在熟慮検討中であります。再来年に開催予定とはいえ何しろ他 2800 地区の RC 行事との絡みもある事よりなるべく早く決めておかなくてはという事になり、鶴岡 RC の伝統でもある桜の頃の開催を目指し、平成 21 年 4 月 18 日(土) としました。この日は今のところ 2800 地区 RI 行事の予定は無い事は藤川さんより確認されております。

◆会長ショートスピーチ

本日の話題は家庭での血圧測定にしました。日常の血圧を測る事は、私自身いつも実行し皆様にもお勧めしております。私自身は定期検査では長い間正常の血圧でした。14 年前に開業のため健康診断を受けた時も上が 120 で下が 80 台の正常でした。しかしこれがくせ者で実は日中は低血圧を装っていて、明け方にすごく血圧が高くなる早朝高血圧とか仮面高血圧とかいわれる状態だったと気がつき対処しております。今は家庭血圧計が適当な値段で

次回の卓話 (11/20)

RI 規定休会

発売されていますが、日常生活の中で血圧を測る事には色々なメリットがあります。その第一は私のように、日頃は血圧は正常でも実は危険な高血圧状態になることがあることをチェックできる事、診察時の血圧で薬の投与量を決めるしか無かったのが、家庭での血圧を参考に薬の投与量をより適切に決める事が出来るようになった事などです。高血圧の方には血圧日記といわれる記録用のノートを差し上げ、これに午前や午後、あるいは私が最も推奨する早朝血圧をご記入いただき診察のたびに持参して頂いております。外来での高血圧の基準は収縮気圧(上の気圧) 140mmHg(140) 以上で拡張気圧(下の気圧) 90mmHg(90) 以上ですが、家庭での高血圧の基準は上が 135 で下は 80 とされています。外来での血圧が 140 を超える人でもお家の血圧は 120 台などと云う方はざらに見られます。このような方々に外来での血圧を参考に薬をお出しすると量が多くなり、いつもふらふらとなって調子が悪い、いわゆる低血圧状態を来す結果となり、ついには服薬を拒否する事にもなりかねません。家庭での血圧測定記録はこの防止に役立つ事になるわけです。高血圧は脳の血管障害や心臓の血管障害をもたらし、致命的な状態をもたらす危険な病気ですから、元気で長生きを願う我々にとってはぜひ考慮すべき病気です。家庭に一台は備えるべき家庭医療器具の代表として、ぜひお求めになり活用なさる事をお勧めします。

幹事報告

名義後援のお願い

川竹丈夫さん講演会

～末期がんでも治っている人たちがいます～

会長

真島吉也

会報委員会

副会長

富樫松夫

事務局

幹事

本間昭吉

青柳孝治 佐々木咲彦 白幡憲一郎

鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階

TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

日時：12/2（日）午後 2:00～4:00

会場：出羽庄内国際村大ホールにて

参加費：3,000円

◎第5回理事会報告

1. 指名委員会の設置について

- (1) 「細則」第3条 第1節に基づき設置する
- (2) 構成員 丸山隆志君 加藤 功君
斎藤昭君 若生恒吉君 嶺岸禮三君
委員長 丸山隆志君
- (3) 委員会の機能 「細則」第3条 第1節の定めのとおり。

2. 年次総会について

- (1) 開催日 平成19年12月4日(火) 例会終了後

3. IM 及び 6 クラブ合同例会について

- ・合同例会の登録料のクラブ補助を一人当たり 1,000円としたい。

4. クラブ協議会(11/27)について

- ・協議テーマを「IM」実施についてとしたい

5. クリスマス家族例会(12/25予定)の登録料について

- ・会員 5,000円 家族 3,000円
(ただし中学生以上とし、小学生以下は無料)
- ・RAC、IACは招待

6. 2006-07年交換留学生(ノラさん)の受入会計決算について

- ・南RCから、余剰金392,636円となり、1クラブ当たり98,159円の戻しとなったとの報告があつたので、「奉仕プロジェクト基金」に戻し入れたい。

7. 報告事項その他

- (1) 規定期休会の確認：11/20(火)は規定休会
- (2) 移動例会の確認：12/11(火)は12/1(土)

IM・6 クラブ合同例会の移動例会

(12/11は振替休会)

卓話

鶴岡市立莊内病院副院長(兼)地域医療連携室室長
(兼)小児科医長 伊藤末志

温海に生まれ、昭和43年に山形県立鶴岡南高等学校を卒業。昭和50年3月に新潟大学医学部卒業と同時に小児科学教室へ入局。入局直前に同級生と結婚。昭和51年に莊内病院小児科で研修し、帰局後に臨床を行いながら研究生活に入り、昭和53年に文部教官助手となりました。

昭和56年10月に3人の小児科医の主任医長として莊内病院へ赴任しました。昭和58年にはそれ



まで手薄であった新生児医療の分野の専門医を招聘し、小児科は4人体制になりました。昭和58年に学位取得。同時に新潟大学医学部非常勤講師。その後小児科は5人、6人と医師が増え、平成19年度からは7人体制です。なお、平成9年から山形大学医学部非常勤講師にも任命されています。医師が増えるに従って、若い先生の指導が大きな仕事量になります。それに心血を注いでいかないと希望して来ていただく小児科医にはなりえません。

突然のことでしたが、平成19年4月に副院長兼地域医療連携室室長を拝命しました。今まで行ってきた仕事内容は変えずに新たな仕事が加わった形です。小児科医としても日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児保健協会のいわゆる小児科三者協の役員をしてきましたし、地域では鶴岡市すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会の副会長などを長らくやってきました。地域の中核病院の小児科医長としてこれからも辞めるわけにはいかない役職です。副院長としては、今まで全く関心を持っていなかった医療マネジメントの勉強が始まりましたし、院内の各種委員会の10以上の委員長を務めることになりました。現在最も大きな仕事は「莊内病院診療体制充実に向けてのプロジェクト会議」の代表です。莊内病院は必要な医師数としては15名ほど不足しており、この補充のために奔走しています。将来に向けて明るい材料もあるのですが多くはありません。皆様の協力も是非お願いいたします。

地域医療連携室は莊内病院の「顔」であり「窓」でもあります。病院と診療所や病院同士の医療連携の基点であり、地域の皆様の健康を守っていくためのネットワークの中心になります。莊内病院の情報を発信していくことも仕事の一つです。よろしくご理解ください。

委員会報告

●スマイル

真島 吉也君 樋渡美智子君 吉野 隆一君
佐藤 孝子君 上野 欣一君 加藤 功君

出席委員会

●出席報告(11/6)

会員数	出席	出席率	前々回 確定出席率
46名	29名	65.91%	77.27%

●マイアップされた方

藤川 享胤君 樋渡美智子君 本間 昭吉君
丸山 隆志君 真島 吉也君 嶺岸 禮三君
越智 茂昭君 佐藤 孝子君 佐藤 友行君
富樫 松夫君 富田喜美子君